

研究課題 (テーマ)	環境リテラシー習得のための体験学習の充実		
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	環境・社会基盤工学科	教授	楠井 隆史
研究結果の概要			
<p>1. ひまわり大作戦の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生による一斉に種まきを行った。また、種まきには、地域貢献の一環として、黒河保育園の園児も参加した。 ・ひまわり迷路のデザインを学生から募集し、最優秀作品のデザインの迷路を作成した。 ・地域貢献の一環として、ひまわり迷路の開園式を、黒河保育園の園児とともにいき、ひまわり迷路を一般市民に開放した。 ・高大連携の一環として、小杉高校の生徒とともにひまわりの種の搾油・BDF変換実験を実施した。 <p>2. エコツアー I の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当日の安全かつ効果的な活動の実施を担保するため、事前調査を行った。 ・1年生による立山で外来植物の除去活動を行い、12種類、約24,000株の外来植物を除去した。 ・ナチュラリスト18名に参加していただき、外来植物の除去活動を効率よく実施した。 <p><実施結果></p> <p>1. ひまわり大作戦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひまわり栽培の体験を通じて、学生が資源の大切さや環境問題への関心を高めるとともに、地域社会に貢献することができた。 ・大学にとって、特色のある環境教育を展開することができた。また、県立大学及び地域の象徴として社会に定着し、大学・地域のイメージアップにつながった。 <p>2. エコツアー I</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立山の大自然に触れながら、地球温暖化や大気汚染物質の飛来、外来種植物の持ち込み等が、自然や生態系に及ぼす影響を学び、環境に関する問題意識や倫理観を醸成することができた。 ・ナチュラリストによる自然解説を通じて、立山の自然と保護対策の実態を学び、学生が人と自然との共生の在り方を考える機会となった。 			
今後の展開			
<p>今後も引き続き、ひまわり大作戦及びエコツアーを実施していく。</p> <p>ひまわり大作戦は、地域社会に貢献するため、近隣保育園児も参加する種まきや、ひまわり迷路の一般市民開放を行う。また、近隣の高校生にひまわり大作戦の諸活動を体験させるなど活動をより発展させていく。</p> <p>エコツアーは、内容を変更し、平成29年度より、各学科にて大学近傍及び県内の自然環境を学習するツアーを企画・実施する。</p>			